

形名

RA-2239PV
RA-2539PV
RA-2839PV
RA-4039PV

保証書別添

このたびは長府製品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は据付工事説明書・保証書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20792970 (M)



も く じ

ページ

ご使用の前に	安全上の注意	2
	各部のなまえとはたらき	
	室外ユニット	7
	室内ユニット	8
	リモコン	9
	乾電池の入れかた	10
	リモコンの取扱いかた	10
	運転の前に	
	運転前の準備	11
	現在時刻の設定	11
運転のしかた	冷房・ドライ・暖房運転	12
	送風運転	13
	ひかえめ運転	14
	省エネファン	15
	クリーン運転	16
	風向調節	17
	表示切換について	18
	タイマー運転	
おやすみ運転	19	
入タイマー	20	
切タイマー	21	
入タイマー、切タイマーの組み合わせ	21	
応急運転・強制冷房運転	22	
上手な使いかた	23	
上手に使ってね	日常の点検・手入れ	
	日常の点検	24
	お手入れの前に	24
	お手入れのしかた	
	室内ユニット	25
	室外ユニット	25
	リモコン	25
	吸込グリル	26
	エアフィルタ、空気清浄フィルタ	27
	シーズン前の準備	28
	シーズン後は	29
	点検のおすすめ	29
	故障かな？	故障・異常の見分けかたと処置方法
アフターサービス		32
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について		33
仕様		34

安全上の注意

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。
- ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		指 示	
 一般的な禁止	 水濡れ禁止	 必ず行うこと	 電源プラグを抜くこと
 濡れ手禁止	 分解禁止	 アースを接続すること	

ページ は参考になるページです。

次のような場所に設置されていないことを確認してください




- 近くに高温になるものがある場所(能力不足・故障の原因)
- 隣家などに近い場所(騒音苦情の原因)
- 工業用マシンなど高周波ノイズを発生する機器がある場所(誤動作・故障の原因)
- 塩害の起きやすい場所(腐食の原因)
- 温泉地などで硫化ガスにさらされる場所(腐食・故障の原因)
- アンモニアにさらされる場所(腐食・故障の原因)
- 積雪により室外ユニットがふさがれてしまう場所(能力不足・故障の原因)
- 室外ユニットの吹出口からの風が動植物にあたる場所(動植物への悪影響)
- 油が飛び散ったり、油煙がたちこめる場所(プラスチックの変質破損の原因)

騒音にご配慮ください


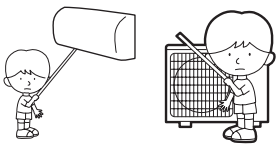
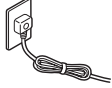
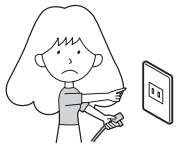

- 据付けにあたってはユニットの重量に充分耐える場所で、運転音や振動が増大しない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口の近くに物を置くと、機能低下や騒音の原因になることがありますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- 運転中に異音がある場合は運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカを「切」にしてお買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 警告 (WARNING)

据付け時

	<ul style="list-style-type: none">●電源コードを切断して延長しない 電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。 絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●据付けはお買い求めの販売店に依頼する お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れ・ガス漏れ・ユニットの落下の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●電源は必ずエアコン専用のコンセントを使用する 専用以外のコンセントを使用すると、火災や発熱の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●漏電遮断器を取付ける 漏電遮断器の設置が必要です。取付けられていないと感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●アース工事をする アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。 アース工事が不完全な場合は感電の原因になります。


使用時

	<ul style="list-style-type: none">●長時間、風を体にあてない。冷やしすぎ(暖めすぎ)ない(体調不良や健康障害の原因)	
	<ul style="list-style-type: none">●吸込口・吹出口に指や棒などを入れない(けがの原因) 内部でファンが高速回転しています。	
	<ul style="list-style-type: none">●電源コードは束ねたままで使用しない(火災・発熱・感電の原因)	
	<ul style="list-style-type: none">●電源コードは破損させない、加工しない 重いものを載せたり、加熱したり、加工したり、引張ったりしないでください。 傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。	
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグを抜いて停止させない(火災や感電の原因)	
	<ul style="list-style-type: none">●延長コードの使用、タコ足配線はしない(火災・発熱・感電の原因) 途中で接続したり、延長コードを使用したり、他の電気器具とのタコ足配線をしったりしないでください。	
	<ul style="list-style-type: none">●自分で分解・改造をしない(火災・感電・けが・水漏れの原因)	

安全上の注意



⚠ 警告 (WARNING)

使用時

	<p>●電源は専用回路を使用する 専用回路以外の電源を使用すると火災・発熱・故障の原因になります。</p>
	<p>●電源プラグは確実に差し込む 電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなくコンセント側にもほこりの付着・つまり・がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりの付着・つまり・がたつきがあると火災や感電の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。</p>
	<p>●電源プラグのお手入れをする ときどきは電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。 ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。</p>
	<p>●冷えない、暖まらない場合はお買い求めの販売店に相談する エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。 冷媒の追加を伴う修理を行った場合は、漏れ箇所の修理を販売店に確認してください。 エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。</p>
	<p>●異常時は運転を停止して電源プラグを抜く (火災・感電・故障の原因) ・電源コードやプラグが異常に熱い。 ・電源プラグが変色している。 ・運転中にこげくさい臭いがする。 ・室内ユニットから水が漏れる。 ・架台や吊り下げなどの取付け部品に腐食や緩みがある。 ・異常な音や振動がする。 ・その他の異常や故障がある。 故障や事故防止のため、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。</p>





移設・修理時



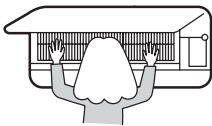

	<p>●指定冷媒以外は使用(冷媒補充・入替え)しない 機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。</p>
	<p>●機器の修理はお買い求めの販売店にご相談を… 修理に不備があると火災・感電・水漏れの原因になります。</p>
	<p>●移設はお買い求めの販売店にご相談を… 移設に不備があると火災・感電・水漏れの原因になります。</p>

⚠ 注意 (CAUTION)

据付け時

	●油煙の多い場所、油成分が浮遊している場所、可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のほこりがある場所には設置しない 万が一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると火災・故障・腐食の原因になることがあります。
	●純正部品以外は使用しない(事故の原因) 事故防止のため当社純正部品以外は使用しないでください。 ●ドレン排水について 室外に確実に排水されることを確認してください。不確実な場合は水漏れし、家財などを濡らす原因になることがあります。

使用時

	●他の目的に使用しない 食品・精密機器・美術品の保存や動植物の生育など特殊な用途には使用しないでください。 思わぬ事故の原因になることがあります。	
	●電源コードを引張らない(火災や発熱の原因) 電源プラグを抜くときはプラグを持って行ってください。	
	●エアコンの風が当たる場所に燃焼器具を置かない(燃焼器具の不完全燃焼の原因)	
	●据付台の確認(けがの原因) 傷んだ状態で放置すると室外ユニットの落下につながります。	
	●動植物に風が当たる場所に設置しない(動植物への悪影響)	
	●家庭用以外の使用禁止(事故の原因) この機器は一般家庭でご使用いただくために製造されたものです。	
	●幼児に本体やリモコンで遊ばせない 誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。	
	●室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない(けがの原因)	
	●不安定な台の上に乗らない フィルタの脱着やお手入れのときは、不安定な台の上に乗らないでください。落下や転倒してけがの原因になることがあります。	
	●金属部に触らない フィルタの脱着やお手入れのときは、金属部に触らないでください。 また、室外ユニットの側面や裏面のアルミ部分に触らないでください。 けがの原因になることがあります。	
●ライターやスプレーなどを置かない 室内外ユニットの吹出口から1m以内の場所に置かないでください。火災や爆発の原因になることがあります。		
	●エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器を載せたりしない (漏電による感電の原因)	

安全上の注意

⚠ 注意 (CAUTION)

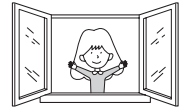
使用時



●濡れた手でスイッチや電源プラグを触らない(感電の原因)

●ときどき換気する(酸欠事故の原因)

燃焼器具などをいっしょに使用する場合は、こまめに換気してください。



●運転時は室外ユニットのカバーをはずす(故障の原因)

●室外ユニットの周囲に物を置かない、落ち葉がたまらないようにする

落ち葉があると、小動物が侵入して、内部の電気部品に触れ、発煙・発火・故障の原因になることがあります。

●室内ユニットの下や近くに他の電気製品を置かない(感電や故障の原因)

電気製品や濡れて困る物を下に置かないでください。室内ユニットから水滴が滴下することがあります。

●リモコン用乾電池について

以下のことを守らないと、破裂や液漏れなどにより、けが・やけどの原因になることがあります。もし液に触れたときは、水でよく洗い流してください。また、リモコンなどに液が付着した場合は、液に直接接触しないでください。

・極性表示⊕⊖を間違えて挿入しないでください。

・充電しないでください。

・乾電池に表示している「使用推奨期間」を過ぎて使用しないでください。

・使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしないでください。

・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。

・乾電池に直接ハンダ付けしないでください。

・ショート・分解・加熱・火の中に投入しないでください。

・乾電池を廃棄するときは、端子にテープなどを巻きつけて絶縁してください。他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因になることがあります。

●室内ユニットの内部の洗浄は…

室内ユニットの内部の洗浄は自分で行わず、お買い求めの販売店にご相談ください。

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、内部樹脂部品が破損したり、水漏れすることがあります。また、電気部品やモータの発煙・発火・故障などの原因になることがあります。

●掃除をするときは…(感電やけがの原因)

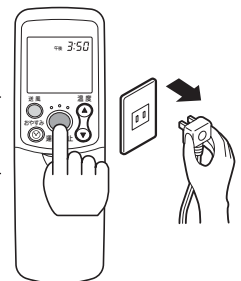
内部でファンが高速回転していますので運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

●長期間使用しないときは…(ほこりがたまって火災や発熱の原因)

運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●落雷のおそれがあるときの処置(火災・感電・故障の原因)

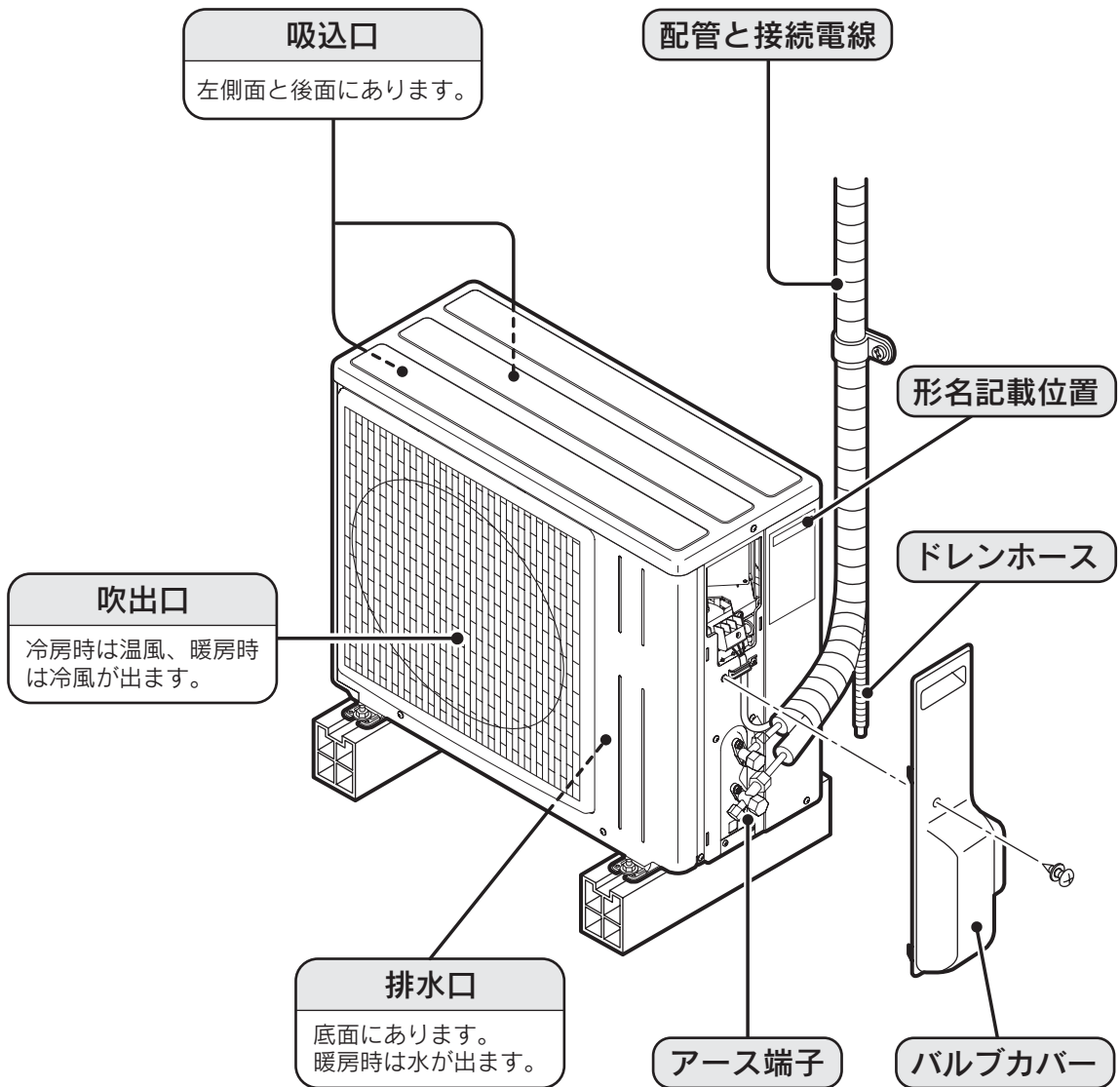
雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、運転を停止しすみやかに電源プラグを抜く、またはブレーカを切ってください。



各部のなまえとはたらき

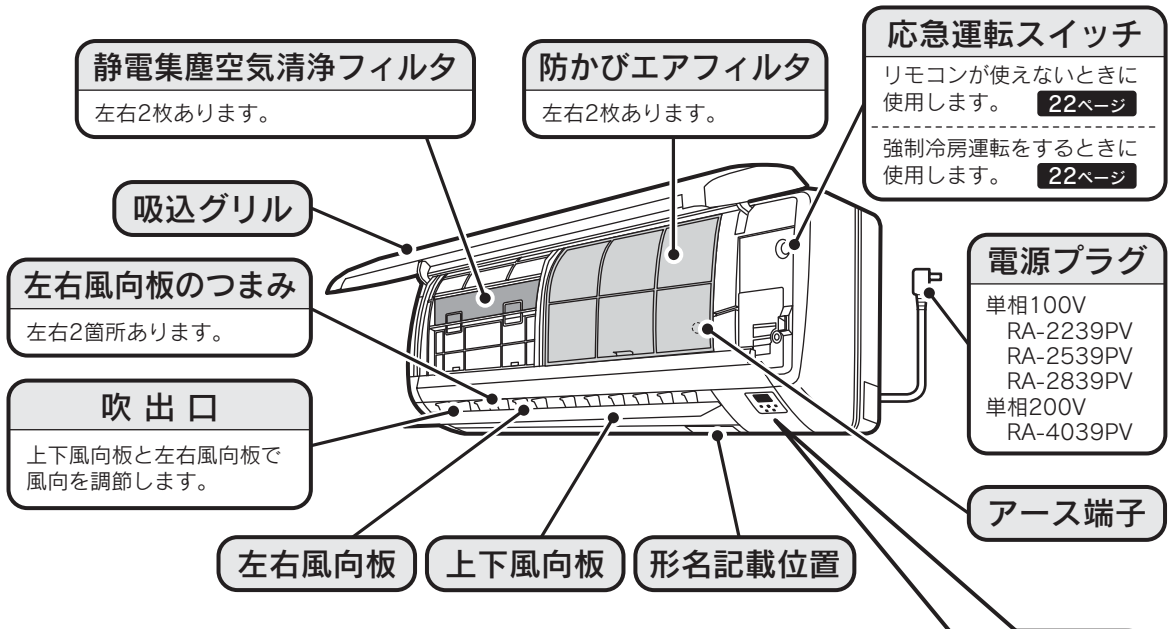
室外ユニット

ご使用の前に



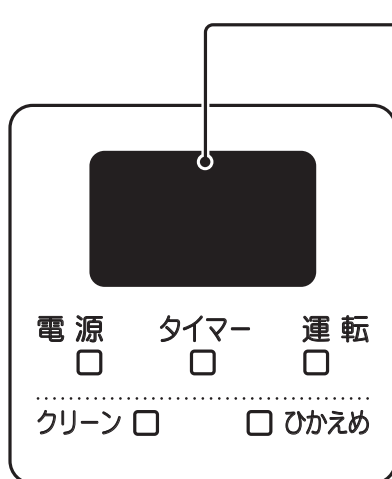
各部のなまえとはたらき

室内ユニット



表示部

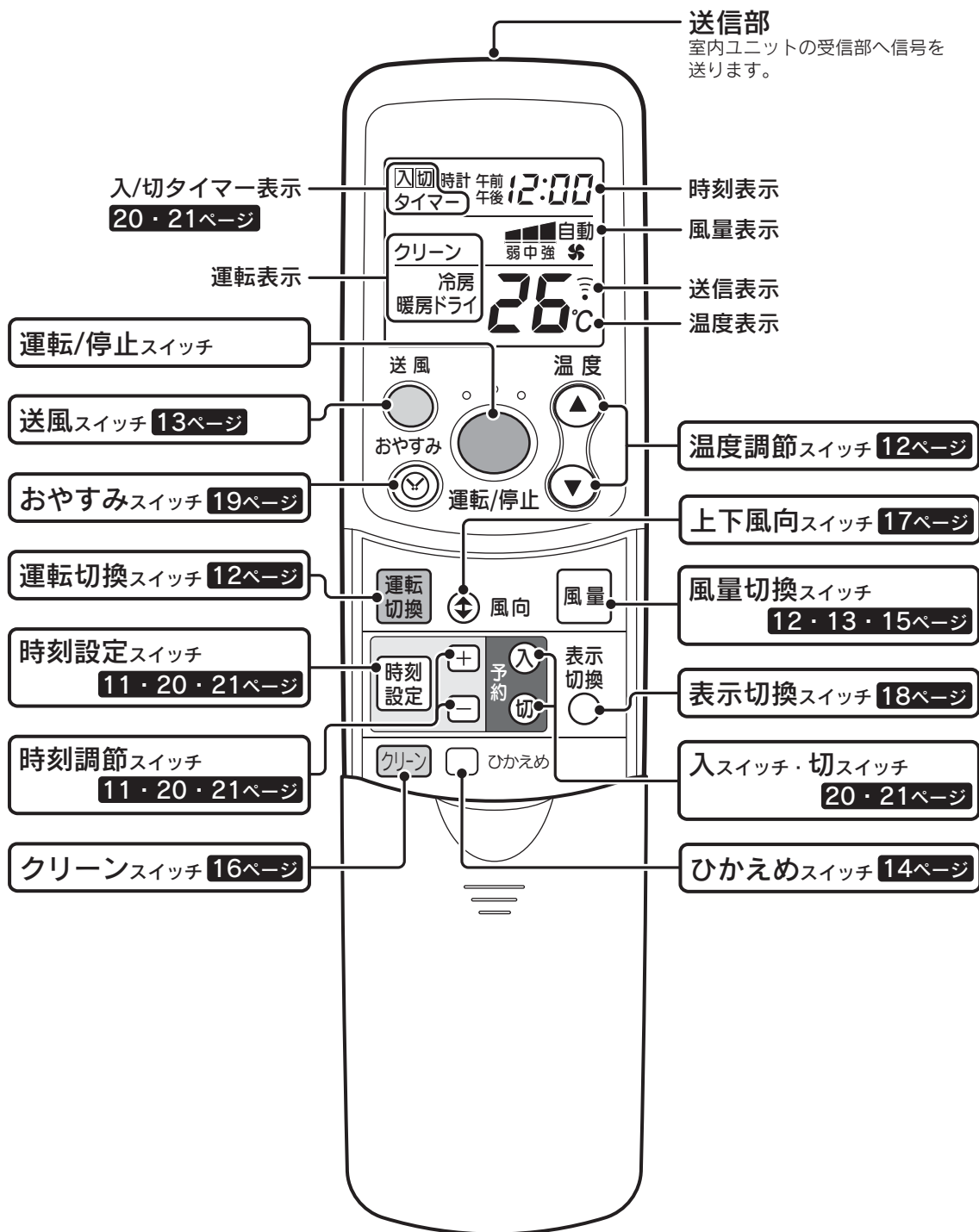
●ランプの状態により故障・異常箇所がわかるようになっています。 **31ページ**



ランプ名	色	状態	お知らせしている内容
電源	緑	点灯	運転/停止スイッチ「入」。
タイマー	黄	点灯	タイマー運転セット中。
運転	緑	点灯	室外ユニット運転中。
		消灯	室外ユニット停止中。
クリーン	緑	点灯	クリーンスイッチ「入」。
ひかえめ	青	点灯	ひかえめ運転中。

電源ランプ・タイマーランプ・運転ランプが点滅しているときは **31ページ**

リモコン (CAR-37KD)



ふたを開けた状態です。

表示例は説明のためのもので、実際とは異なります。

スイッチを押すと該当するものだけを表示し、その後すべての設定内容を表示します。

各部のなまえとはたらき

乾電池の入れかた

1 ふたをはずす

ふたを手前に引き、止まったところでふたを持ち上げるとはずれます。

2 乾電池を入れる

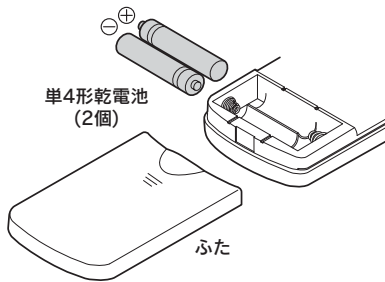
表示に従って⊕⊖を正しく入れてください。

3 ふたを取付ける

レールにそって差し込んでください。

4 表示部を確認する

運転/停止スイッチを押して表示が出ることを確認してください。

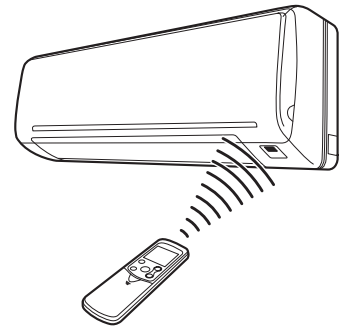


- 付属の乾電池はモニター用です。リモコンの表示がうすくなったり、信号を受けつけなくなったりした場合は、乾電池を入替えてください。
- 乾電池は2個とも同じ種類の新しいものを入れてください。
- 乾電池を交換した直後は「冷房」運転の「26℃」、風量「自動」の設定になります。現在時刻、タイマー時刻は解除されますので、設定し直してください。
- 長期間使用しない場合は、乾電池をリモコンから取出してください。

- 乾電池交換後、正常に動作しないときは乾電池をはずして、30秒以上経過してから入れるか、乾電池をはずした状態で運転/停止スイッチを3、4回押し、再度入れてください。

リモコンの取扱いかた

- 送信部を室内ユニットの受信部に向けて操作してください。
- 受信部との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
- 壁や柱に取付けたまま使用する場合は、室内ユニットが受信できる位置を選んでください。
- リモコンに落下させて衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。また直射日光が当たる場所、ストーブなどの近くには置かないでください。
- 電子式点灯方式(ラピッドスタート方式)の蛍光灯やインバータ方式の蛍光灯、コードレス電話のある部屋では信号を受けつけない場合があります。その場合はリモコンを受信部に近づけて操作してください。
- 直射日光が送信部に当たる場合は、室内ユニットが受信できないことがあります。
- 室内ユニットの斜め横からリモコンを操作すると受信できる距離が短くなります。



運転の前に

運転前の準備

1 空気清浄フィルタの取付け

「日常の点検・手入れ」の「エアフィルタ・空気清浄フィルタ」に従って空気清浄フィルタを取付けてください。

(「1・2・5・6・7」を行ってください。) **27ページ**

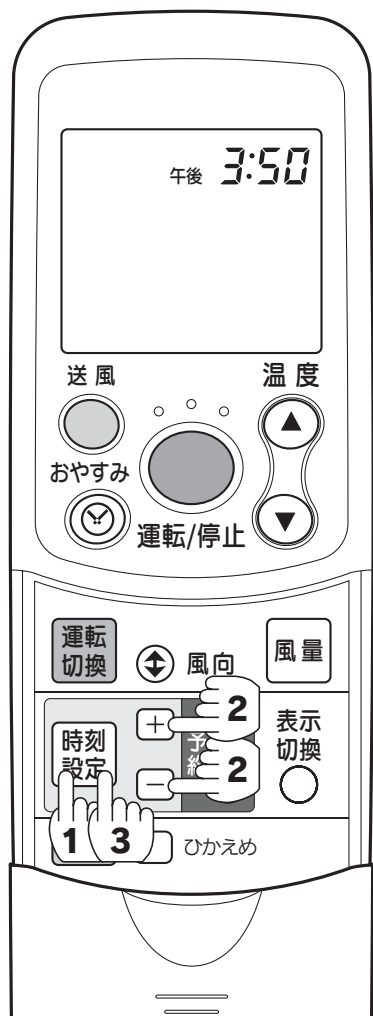
2 電源プラグをコンセントに差し込む

上下風向板が初期位置合わせのため数秒間作動します。
作動中は上下風向板の向きを変えたりしないでください。

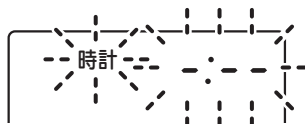
ご使用の前に

現在時刻の設定

午後3:50に合わせる場合

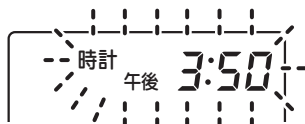


1 時刻設定を1回押す



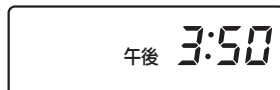
2 + - を押して時刻を合わせる

押し続けると10分単位で変わります。
3:49から3:50にセットした時点で時計がスタートします。



3 時刻設定を3回押す

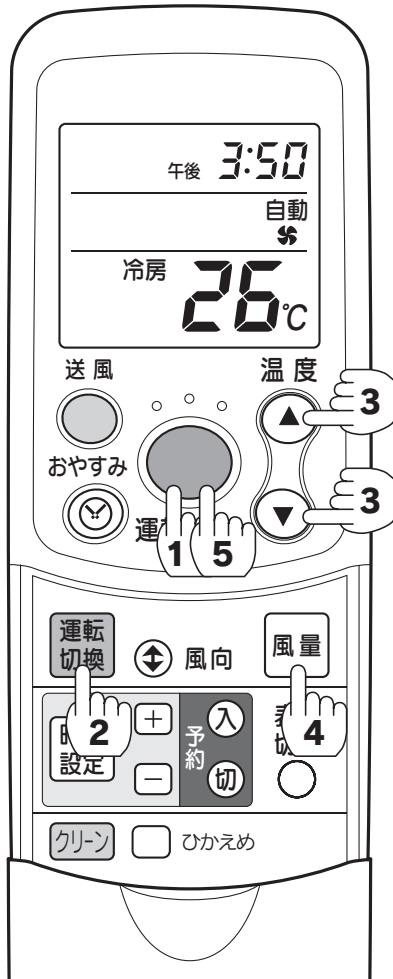
現在時刻が表示され、現在時刻の設定が完了します。
時刻設定を3回押さなくても10秒後に同じように設定が完了します。



お知らせ

- 現在時刻を設定した後は、停止中でも現在時刻を表示します。
- 現在時刻を設定しないと入・切タイマー運転はできません。
- 入タイマー、切タイマーの予約中は現在時刻を変更できません。

冷房・ドライ・暖房運転



1 運転/停止スイッチを押す

2 運転 切換 を押す

運転 切換 を押してご希望の運転を選びます。

3 ▲ ▼ を押して温度調節をする

ご希望の温度に調節してください。
16~30℃の範囲で調節できます。

温度調節のおすすめ範囲	冷房・ドライ運転	26~28℃
	暖房運転	20~23℃

4 風量 を押して風量調節をする

ご希望の風量を選んでください。
「自動」にすると風量は自動的に変わります。

停止

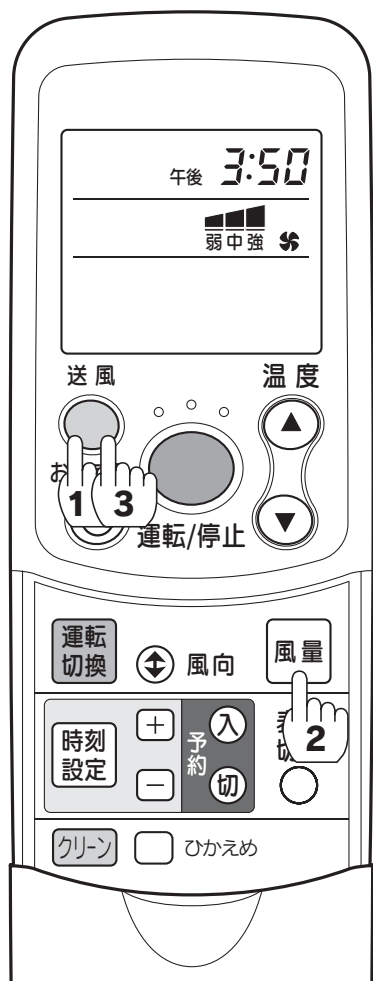
5 運転/停止スイッチを押す

運転/停止スイッチをもう一度押します。
次回からは運転/停止スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。

お知らせ

- 運転を停止してすぐに運転/停止スイッチを押しても、ユニットを保護するために約3分間、室外ユニットは運転しません。しばらくお待ちください。
- 湿度が高いときに窓やドアを開けたまま長時間冷房・ドライ運転すると、ユニットの吹出口に露がつき水滴が落ちることがあります。
- ドライ運転では設定温度が低いときにユニットの風があたると冷たく感じる場合があります。
- ドライ運転では室温が「設定温度」に下がるまで冷房運転を行い、その後、設定風量に関係なく「微風」で運転、停止を繰り返します。
- ドライ運転では設定温度になると約3分間室内ユニットは運転しません。
- 暖房運転は冷風防止のため、充分暖まらないうち風が出ないようにしています。
- 暖房運転中は室外ユニットに霜がついて暖房能力が低下することがありますので、自動的に暖房運転を中断して霜取り運転を行います。
霜取り運転中は室内ユニット、室外ユニットの送風は停止します。
- 暖房運転の風量「強」運転時、風が冷たく感じる場合は、風量「自動」でお使いになることをおすすめします。
- 暖房運転時に外気温が下がって室内が暖まりにくい場合は、他の暖房器具を併用してください。

送風運転



1 ^{送風}を押す



2 ^{風量}を押して風量調節をする

ご希望の風量を選んでください。

停止

3 ^{送風}または運転/停止スイッチ
を押す

^{送風}または運転/停止スイッチを押します。
次回からは^{送風}を押すだけで同じ設定で運転できます。

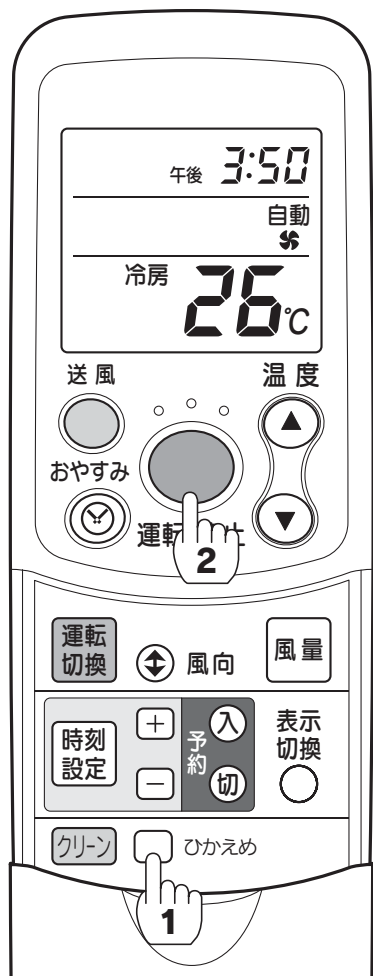
運転のしかた

お知らせ

- 送風運転では風量は自動を選択できません。
- 冷房シーズンは温度を下げない送風、暖房シーズンはエアコン以外の暖房機器を使うときのサーキュレーターとしてお使いください。
- 送風運転をタイマー予約する場合は、送風運転中に切タイマー予約を行ってください。停止中は入タイマー予約はできません。 **19～21ページ**

ひかえめ運転

能力を抑えたひかえめな運転を行うことにより消費電力を抑えることができます。
また、冷やしすぎや暖めすぎを防止します。



エアコン運転中に

1 ひかえめ を押す

ひかえめランプが点灯し、ひかえめ運転を開始します。

停止

2 運転/停止スイッチを押す

次回からは、ひかえめ運転で運転します。

ひかえめ運転の取消し

エアコン運転中に ひかえめ を押す

ひかえめランプが消灯し、通常運転に戻ります。

お知らせ

- 送風運転中に、ひかえめ運転は使用できません。
- ひかえめ運転を設定すると、冷房運転・暖房運転の最大能力が低下します。
- ひかえめ運転を設定すると、設定温度になるまでに時間がかかることがあります。
- ひかえめ運転は能力を抑えた運転を行うため、よく冷えない・よく暖まらない場合があります。お使いの状況に応じて通常運転と使いわけてください。
- 条件によっては通常運転と消費電力量に差が出ない場合もあります。

省エネファン

冷房運転やドライ運転時に風量を「自動」にすると、設定温度になって室外ユニットが停止している間、室内ユニットのファンを停止します。

また、冷房運転やドライ運転で室内ユニットの取った湿気が再蒸発して、お部屋に戻るのを防止します。



1  を押して「冷房」または「ドライ」を選ぶ

2  を押して風量「自動」を選ぶ

省エネファン機能が働きます。

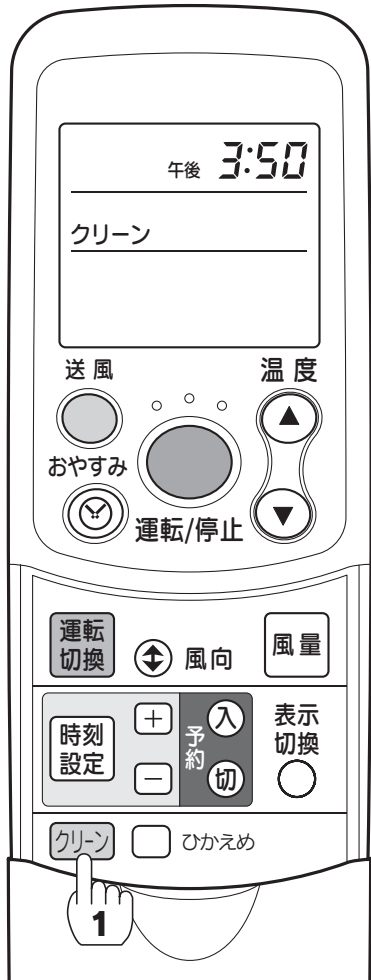
運転のしかた

お知らせ

- 風量「自動」以外の風量では、省エネファン機能は働きません。
- ファンを停止させたくない場合は、風量「強」「中」「弱」を選択してください。

クリーン運転

室内ユニット内部を乾燥させ、カビの成長を抑制します。



エアコンを運転している場合

1 クリーンを押す

エアコンの運転を停止した後に、クリーン運転を行います。(クリーン運転の予約)

エアコンを停止している場合

1 クリーンを押す

すぐにクリーン運転を行います。

停止

約40分経過すると自動的に停止します

途中で停止する場合は **クリーン**、または運転/停止スイッチを押してください。
エアコン運転中にクリーン運転の予約を中止する場合は **クリーン** を押してください。
(運転/停止スイッチを押すとエアコンの運転が停止し、クリーン運転を始めます。)

お知らせ

- すでに発生しているカビはクリーン運転を行っても取ることはできません。
- 冷房・ドライ運転後のクリーン運転が効果的です。
- クリーン運転では暖房運転、または送風運転を行いますので、部屋の温度が上昇することがあります。
- クリーン運転中は上下風向板は水平になります。
また、クリーン運転の温度・風量・風向の調節、タイマー運転はできません。
- 室内に臭いが出てくる場合がありますので、窓をあけて換気してください。
- 季節の変わりめなどシーズン前後のお手入れの際に行ってください。
- クリーン運転中に送風スイッチを押すとクリーン運転が停止して送風運転を開始します。
(クリーン運転は送風運転と同時にできません。)
- クリーン運転はエアコン運転と同時にできません。

風向調節

上下の風向調節

リモコンの**運転/停止スイッチ**を押すと、上下風向板が運転に適した位置(標準位置)に自動的に開きます。

スイング運転

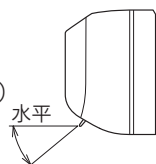
リモコンの**上下風向スイッチ**を一度押すと上下風向板が図の範囲で動き続けます。

お好みの位置で止める

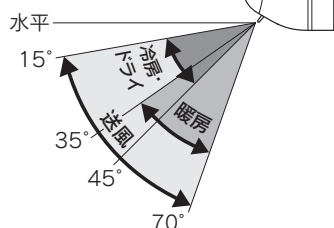
もう一度**上下風向スイッチ**を押すと上下風向板がその位置で止まります。マイコンが記憶しているため、次回運転時にはこの停止位置に自動的にセットされます。

標準位置

水平 (クリーン)
約15° (冷房・ドライ)
約35° (送風)
約70° (暖房)



スイング運転時

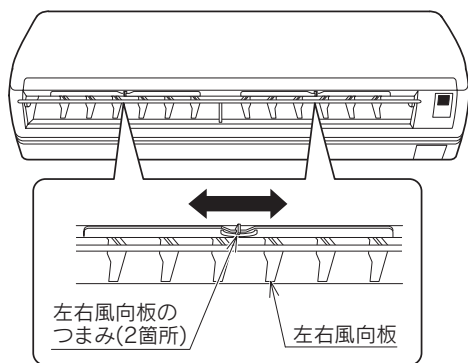


お知らせ

- 停止すると上下風向板は自動的に閉じます。
- 冷房・ドライ運転時は上下風向板を長時間下向きにしないでください。
下向きのまま運転を続けると上下風向板や吹出口に露がつき、水滴が落ちることがあります。
- 冷房運転時は露付き防止のため上下風向板の角度が自動的に変わることがあります。
- 上下風向板の角度を変えるときは必ずリモコンで行ってください。
手で動かすと正しく動かなくなることがあります。
正常に戻すには一度運転を停止し、再度運転してください。

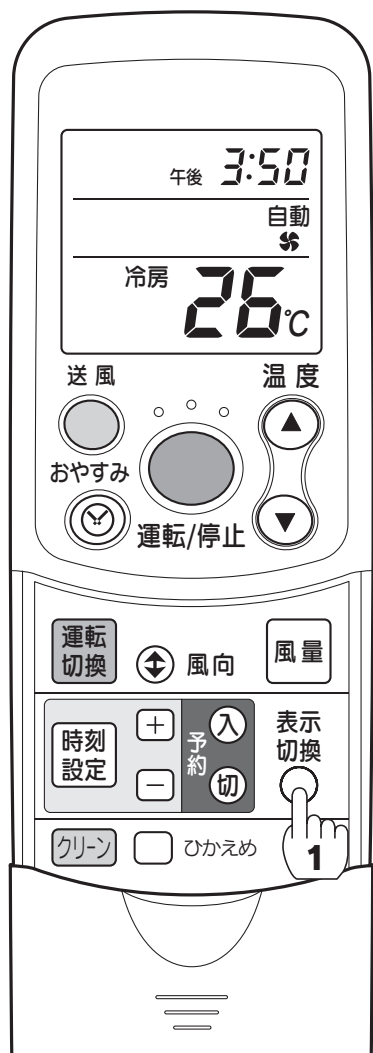
左右の風向調節

- 左右風向板のつまみを持って風向調節してください。
(左右風向板を持って調節すると折れたり、はずれたりすることがあります。)
- 梅雨どきなど湿度が高いときに左右風向板を大きく左右に向けて冷房・ドライ運転を行うと、吹出口付近に露がついたり、水滴が落ちることがあります。



表示切換について

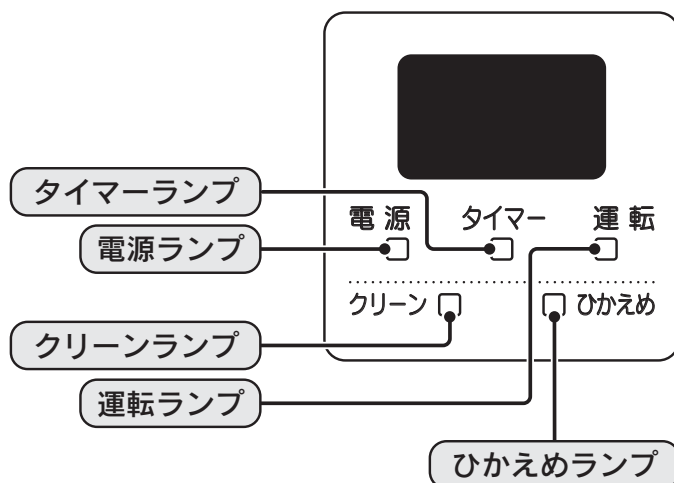
室内ユニットのランプの明るさを切換えることができます。



1 表示切換を押す

表示切換を押すごとにランプの明るさが 明るい ↔ 暗い に切換わります。

室内ユニット表示部



お知らせ

- クリーン運転中(クリーンランプのみ点灯中)は明るさを切換えることができません。
- ランプが点滅しているときは異常、または故障しています。 **31 ページ**
- ランプの明るさを変更すると次回運転時も同じ明るさになります。

タイマー運転

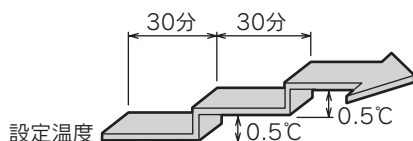
おやすみ運転

おやすみ前に \odot を押すだけで、設定した時間が経過すると運転を停止し、暖めすぎや、冷やしすぎを防ぎ、からだに優しい運転を行います。(切タイマー運転より簡単に設定できます。)

おやすみ運転の特長

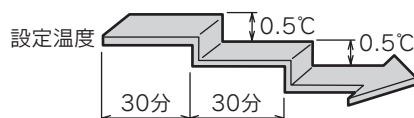
●冷房運転時

タイマー設定後、30分で設定温度が0.5℃上がり、更に30分後0.5℃上がります。(その後は変更ありません。)



●暖房運転時

タイマー設定後、30分で設定温度が0.5℃下がり、更に30分後0.5℃下がります。(その後は変更ありません。)



1 \odot を押す

\odot を押すごとに設定時間は

→0.5H→1.0H→1.5H→2.0H→3.0H
(30分) (1時間) (1時間30分) (2時間) (3時間)

←連続運転(おやすみ運転「切」)←7.0H←5.0H←
(7時間) (5時間)

を繰り返します。
リモコンには設定時間と「 \square タイマー」を表示します。

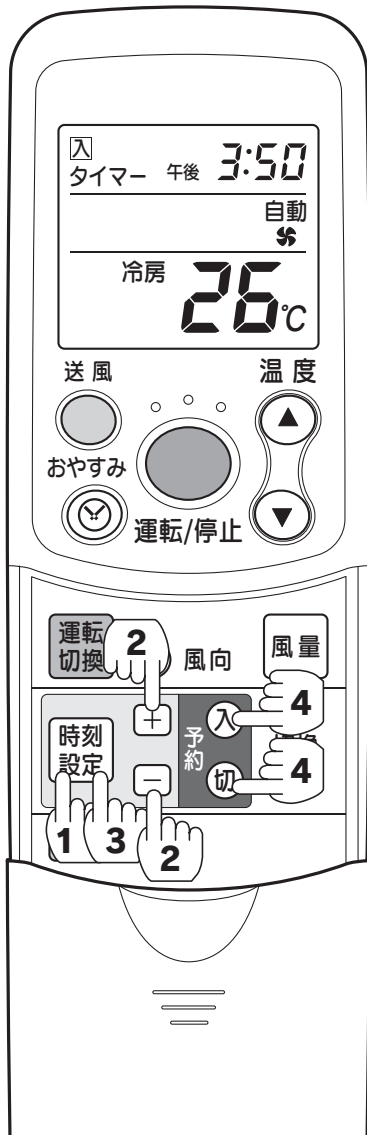
設定した時間が経過するとおやすみ運転は停止し、「 \square タイマー」は消えます。

お知らせ

- おやすみ運転と切タイマー運転の併用はできません。先に設定した運転が解除されます。
- おやすみ運転は現在時刻を設定する必要はありません。

タイマー運転

- タイマー時刻を設定する前に現在時刻が合っていることを確認してください。**11ページ**
- 現在時刻から24時間以内のタイマー予約ができます。
- タイマー時刻は一度設定すると、リモコンが記憶しています。次回からは運転/停止スイッチと**入** (Ⓐ) スイッチを押すだけで同じ時刻にタイマー運転を行います。



入タイマー

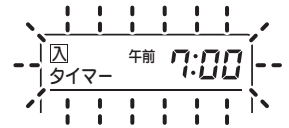
設定時刻になると運転をはじめます。
おめざめ前やご帰宅時などに合わせてご使用ください。

入タイマー時刻の設定 (午前7:00に設定する場合)

1 **時刻設定** を2回押す

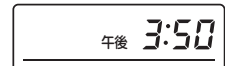
2 **+** **-** を押してタイマー時刻を設定する

10分単位で変わります。
押し続けると早送りになります。



3 **時刻設定** を2回押す

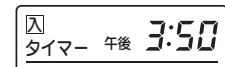
入タイマー時刻の設定が完了し、現在時刻を表示します。**時刻設定** を押さなくても10秒後には時刻設定は完了し、同じように現在時刻を表示します。



入タイマーの予約

4 **入** を押す

入タイマー時刻を1秒間表示した後、現在時刻、「**入** タイマー」を表示し予約が完了します。室内ユニットのタイマーランプが点灯し、運転を停止します。



入タイマー予約の取消し

入 を押す

室内ユニットのタイマーランプは消灯し、運転を開始します。運転を停止する場合は、運転/停止スイッチを押してください。

切タイマー

設定時刻になると運転を停止します。
おやすみになるときなどにご使用ください。

切タイマー時刻の設定 (午後10:00に設定する場合)

- 1** を3回押す
- 2** を押してタイマー時刻を設定する
10分単位で変わります。
押し続けると早送りになります。
- 3** を1回押す
切タイマー時刻の設定が完了し、現在時刻を表示します。 を押さなくても10秒後には時刻設定は完了し、同じように現在時刻を表示します。

切タイマーの予約

- 4** を押す
切タイマー時刻を1秒間表示した後、現在時刻、「 タイマー」を表示し予約が完了します。
室内ユニットのタイマーランプが点灯します。

切タイマー予約の取消し

- 切タイマーボタン** を押す
室内ユニットのタイマーランプは消灯し、運転を継続します。運転を停止する場合は、運転/停止スイッチを押してください。

入タイマー、切タイマーの組み合わせ

入タイマーと切タイマーは、現在時刻に対して設定時刻の早い方から先に動作します。

午後5:00に運転を開始し 午後9:00に停止する場合

- 1** 午後5:00に入タイマーを予約する
- 2** 午後9:00に切タイマーを予約する

午後10:00に停止し 午前7:00に運転を開始する場合

- 1** 午後10:00に切タイマーを予約する
- 2** 午前7:00に入タイマーを予約する

1、2の操作はどちらを先に行っても同じ設定になります。

タイマー時刻の変更

タイマー予約中は設定時刻の変更はできませんので、一度タイマー予約を取り消した後に入タイマー、または切タイマーの

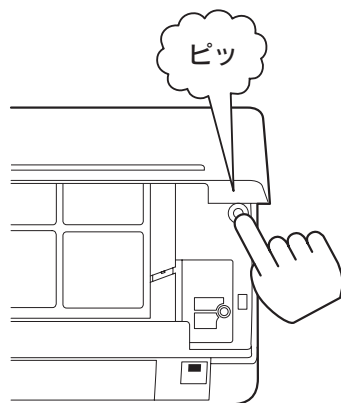
- タイマー時刻の設定 **1 2 3** と
タイマーの予約 **4** を行ってください。

応急運転・強制冷房運転

応急運転

- リモコンの紛失や乾電池切れ、故障などの場合に応急的に使用できます。
- 応急運転スイッチを押すと「ピッ」とブザーが鳴り、応急運転をはじめます。
- 応急運転は応急運転スイッチを押したときの室温により次の運転内容になり、その他の運転・設定変更などはできません。

室温	運転	設定温度	風量
23℃以上	冷房	26℃	自動
23℃未満	暖房	23℃	自動



強制冷房運転

- 室温が16℃以下のときの冷房試運転時に使用します。
- 応急運転スイッチを押し、「ピッ」とブザーが鳴り、そのまま約5秒間押し続け、「ピピッ」とブザーが鳴ってから指を離してください。
強制冷房運転をはじめます。
- 応急運転スイッチを10秒以上押し続けると、強制冷房運転は行われません。
- 強制冷房運転は約30分経過すると自動的に停止します。



応急運転・強制冷房運転の解除のしかた

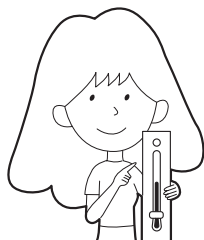
- 途中で解除したいときは応急運転スイッチをもう一度押すか、リモコンで操作してください。「ピッ」とブザーが鳴り、応急運転・強制冷房運転が解除されます。
リモコンで操作した場合はそのままリモコンの運転内容になります。

上手な使いかた

室内温度は適温に

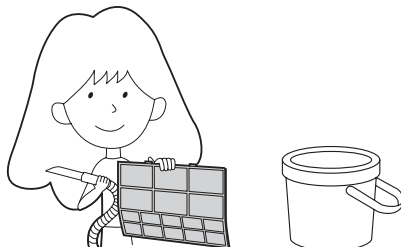
温度調節のおすすめ範囲

冷房・ドライ運転	26～28℃
暖房運転	20～23℃

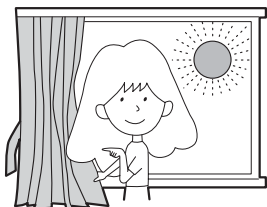


冷やしすぎ
暖めすぎ
に注意！

エアフィルタ、空気清浄フィルタの掃除を **27** ページ

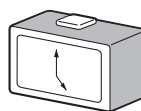
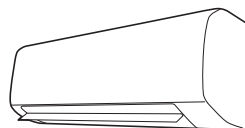


運転中は窓・カーテンを閉めて



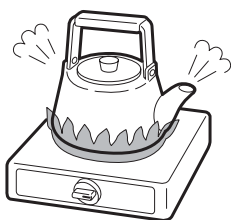
冷房運転時は
直射日光が
入らないように！

タイマーを有効に **19～21** ページ



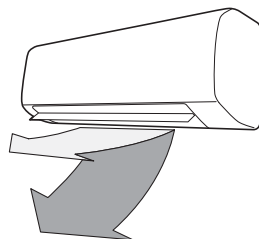
むだな運転を
なくそう！

熱の発生や侵入を少なく



冷房運転時はできるだけ熱源になるものを使用しないでください。

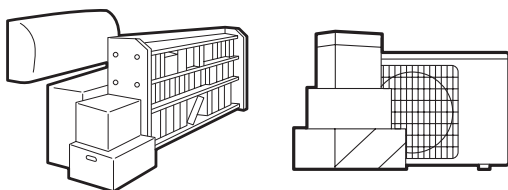
風向調節をしよう **17** ページ



室内温度のムラが少なくなるように上下・左右風向板を調節してください。

吸込口・吹出口をふさがない

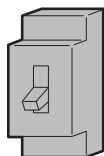
ふさがれていると正常な運転ができず、故障の原因になることがあります。



日常の点検・手入れ

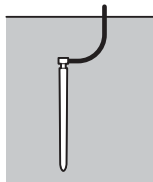
日常の点検

ブレーカの作動確認



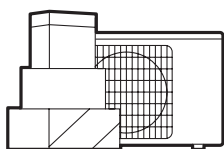
ブレーカが正常に作動することを確認してください。(1ヶ月に1回以上)

アースの確認



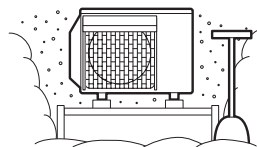
アース線が途中で切れていないことを確認してください。

吸込口・吹出口の確認



吸込口・吹出口がふさがれていると正常な運転ができず、故障の原因になることがあります。また、吹出口から1m以内の場所にライターやスプレーなどを置かないでください。火災や爆発の原因になることがあります。

室外ユニットの除雪



積雪が多い地域では室外ユニットが雪で埋まることがないように除雪を行ってください。

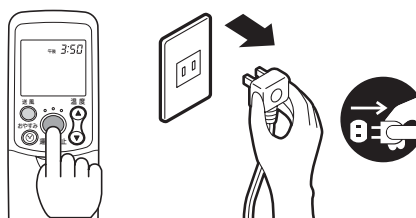
お手入れの前に

⚠ 注意

- 運転している場合は運転/停止スイッチを押して、運転を停止してください。停止しないと内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になることがあります。
- プラグを持って抜いてください。電源コードを引張って抜くと、断線して火災や発熱の原因になることがあります。

1 運転を停止する

2 電源プラグを抜く



3 次のものは使用しない

ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・殺虫剤など

塗装がはがれたり、傷の原因になることがあります。



40℃以上のお湯

変色・変形の原因になることがあります。

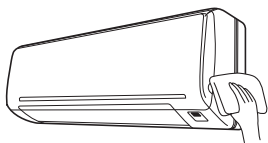


お手入れのしかた

⚠️ 注意

- エアコンに直接水をかけて掃除をしないでください。感電の原因になることがあります。
- お手入れのときは、室内ユニットの金属部に触らないでください。また、室外ユニットの側面や裏面のアルミ部分に触らないでください。
- お手入れのときは、不安定な台の上に乗らないでください。落下や転倒してけがの原因になることがあります。
- 吸込グリルやエアフィルタは、水気を充分ふきとって陰干ししてください。水気が残ったまま取付けると感電の原因になることがあります。
- 点検や手入れは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
- 濡れた手で電源プラグを触らないでください。
- 部品の分解や調整は絶対にしないでください。
- 異常があるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

室内ユニット



やわらかい布でからぶきしてください。
汚れがひどい場合はぬるま湯や水に中性洗剤を入れ、布に含ませてふくと効果的です。
布はよくしぼってください。
中性洗剤はよくふきとってください。

室外ユニット



室外ユニット周辺のゴミや落ち葉を掃除してください。吸込口がつまると能力低下の原因になることがあります。また落ち葉などがあると、小動物が侵入して発火・発煙・故障の原因になることがあります。

リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になることがあります。



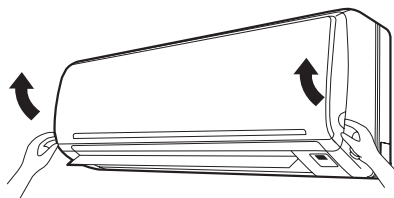
吸込グリル

吸込グリルの汚れが落ちにくいときは、吸込グリルを取りはずして水洗いすることができます。

水洗いするときは必ず取りはずして洗ってください。

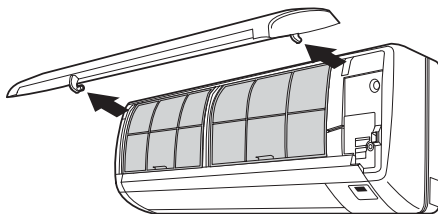
1 吸込グリルを開く

吸込グリルを手前に引き上げて開きます。

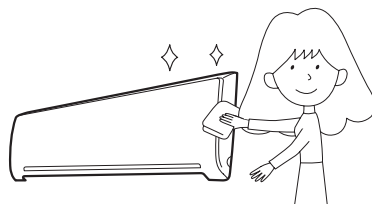


2 吸込グリルを取りはずす

吸込グリルを全開にして手前に引いて取りはずします。

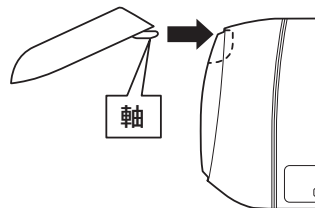


3 掃除する



4 吸込グリルを取付ける

吸込グリルを元通りに取付けます。
取付けるときは両側の軸2箇所を“カチツ”と音がするまで差し込んで閉じます。



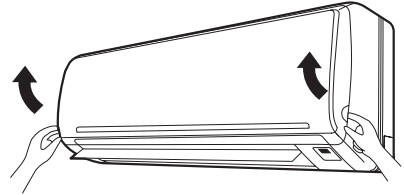
お知らせ

- タワシのような固いものは使用しないでください。傷の原因になることがあります。
- 強く押しつけて洗わないでください。変形や傷の原因になることがあります。
- 中性洗剤を使用した場合はよく洗い流してください。
また、中性洗剤以外は使用しないでください。
- 直射日光のあたるところで乾燥させないでください。変色や変形の原因になることがあります。

エアフィルタ、空気清浄フィルタ

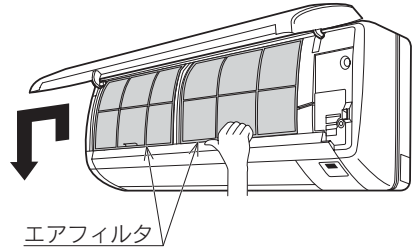
1 吸込グリルを開く

吸込グリルを手前に引き上げて開きます。



2 エアフィルタをはずす

エアフィルタのつまみを少し押し上げて手前に取出します。



3 空気清浄フィルタをはずす

4 掃除する

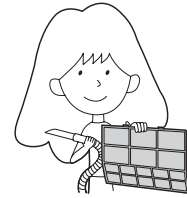
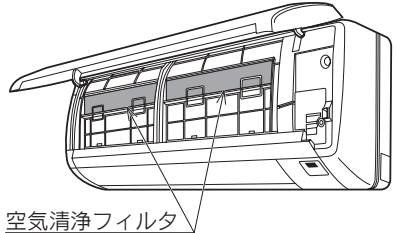
●エアフィルタ

2週間に1回程度、掃除機でエアフィルタのほこりを吸い取るか水洗いします。

●空気清浄フィルタ

掃除機でほこりを吸い取ります。

汚れがひどく臭いが取れない場合は交換してください。



5 空気清浄フィルタを取付ける

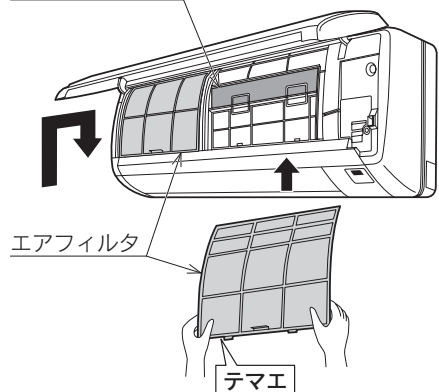
6 エアフィルタを取付ける

テマエ表示が正面になるようにエアフィルタを元通りに取付けます。

エアフィルタを取付けずに運転すると、ほこりなどが内部に入り、汚れや故障の原因になることがあります。

エアフィルタの左右の形状は同じです。

空気清浄フィルタ



7 吸込グリルを閉じる

お知らせ

- エアフィルタ・空気清浄フィルタが汚れたまま使用すると、空気清浄効果が得られなかったり、臭いが発生したり、冷暖房の能力が落ちたりすることがあります。
- 空気清浄フィルタの有効期間は約3年ですが、使用状況により汚れ具合が異なりますので、ときどき点検してください。
- 空気清浄フィルタを廃棄する場合は、不燃物ゴミとしてお住まいの地域のゴミ収集規則に従って処分してください。

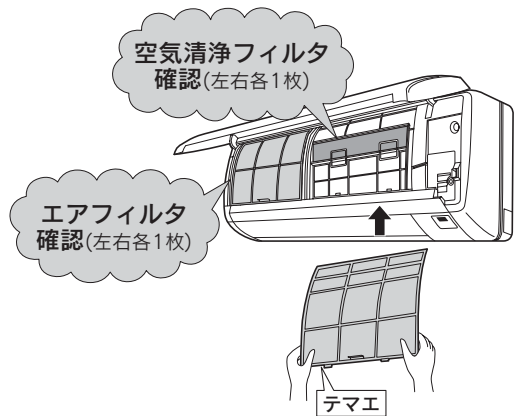
シーズン前の準備

⚠ 警告

- 電源プラグのほこりを掃除して、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。専用のブレーカをご使用の場合はブレーカも入れてください。

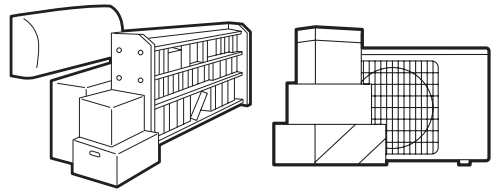
1 エアフィルタ、空気清浄フィルタの掃除と確認

エアフィルタ、空気清浄フィルタを取付けずに運転するとほこりなどが内部に入り、汚れや故障の原因になることがあります。必ず取付けてください。

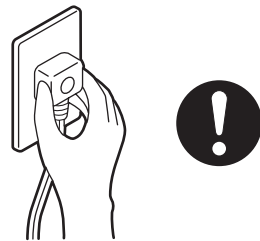


2 吸込口や吹出口をふさがない

ふさがれていると正常な運転ができず、故障の原因になることがあります。



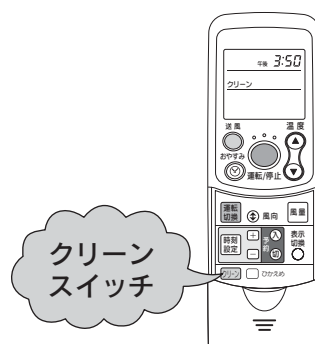
3 電源プラグを差し込む



シーズン後は

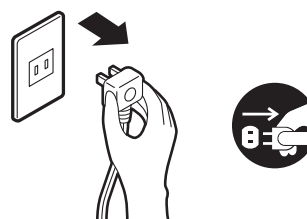
1 クリーンスイッチを押す

クリーン運転を行って室内ユニット内部のカビの発生を抑制します。 **16ページ**



2 電源プラグを抜く

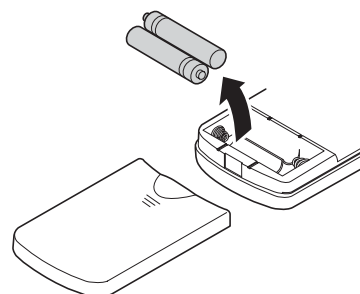
専用のブレーカをご使用の場合は、ブレーカを切った後、電源プラグも抜いてください。



3 お手入れをする

吸込グリル・エアフィルタ・リモコンなどを掃除してください。 **25～27ページ**

吸込グリル・エアフィルタを取りはずした場合は、元通りに取付けてください。



4 リモコンの乾電池を取出す

液漏れによる故障を防ぎます。

点検のおすすめ

- 数シーズンご使用になりますと、室内ユニットの内部が汚れ、能力低下の原因になることがあります。日常の手入れとは別に点検を受けることをおすすめします。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 室内ユニットの内部の洗浄はお客様ご自身で行わず、お買い求めの販売店にご相談ください。誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、内部樹脂部品が破損したり水漏れすることがあります。また、電気部品やモータの発火・発煙・故障などの原因になることがあります。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。
以下の処置を行っても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

現象	確認・処置
運転しない	●ブレーカが「切」になっていませんか。ブレーカを「入」にしてください。
途中で止まる	●切タイマーで運転していませんか。
再運転操作してもすぐに運転しない	●ユニットを保護するためです。運転停止後すぐに再運転操作しても約3分間、室外ユニットは運転しません。 ●リモコンの設定温度は適切ですか。
運転を停止しても止まらない	●クリーン運転中ではありませんか。
臭いがする	●部屋の空気中に含まれたたばこの煙・化粧品・壁・家具などの臭いが出てくるためです。
音がする	●冷房運転・暖房運転を始めたときや停止したとき、またはドライ運転中に“シュルシュル”“グググ”などの音がしますが、これはユニット内部の冷媒(液)が流れている音です。 ●運転開始時や停止時に“ピシッ”という音がすることがありますが、これは温度変化により外装などが膨張収縮するために発生する音です。 ●暖房運転中に“シュッ”という音がすることがありますが、これは冷媒の流れが切替わる音です。
風が出てこない (室内ユニット)	●ドライ運転中は風が出ないことがあります。 ●暖房運転時には冷風防止のため、充分暖まらないうち風が出ないようにになっています。 ●暖房運転時の霜取り運転中は風が出ないようにになっています。 ●冷房運転とドライ運転時の風量「自動」では省エネファン機能がはたらき、室内ファンが停止することがあります。
よく冷えない よく暖まらない	●エアフィルタにほこりやゴミがつかまっていませんか。 ●温度設定は適切ですか。 ●風量が「弱」になっていませんか。 ●室外ユニットの吸込口や吹出口がふさがれていませんか。 ●外気温が下がると暖房能力が低下しますので、他の暖房器具を併用してください。 ●窓やドアが開いていませんか。 ●換気扇が回っていませんか。
リモコン操作を受けつけない リモコンの表示がうすい 送信時に表示がうすくなる リモコンの表示が出ない	●電子式点灯方式の蛍光灯、インバータ方式の蛍光灯、コードレス電話による受信障害が考えられます。リモコンを室内ユニットの受信部に近づけて操作してください。 ●乾電池が消耗していませんか。 乾電池を交換してください。(単4形乾電池2個) 10ページ 乾電池交換後、正常に動作しないときは乾電池をはずして、30秒以上経過してから入れるか、乾電池をはずした状態で運転/停止スイッチを3、4回押し、再度入れてください。 ●乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。 ●他の機器に使用しているリモコンから同時に信号を発信しているときは、エアコンの受信部が他の機器のリモコンに反応して、エアコンのリモコン信号を受信できなくなる場合があります。 ●リモコンラック(小物入れ)にリモコンを収納した際に、つめすぎによりスイッチが押されることがあります。 ●リモコンラック(小物入れ)に立て掛けるとき、リモコンラックの縁にあたり、リモコンのスイッチが押されていることがあります。

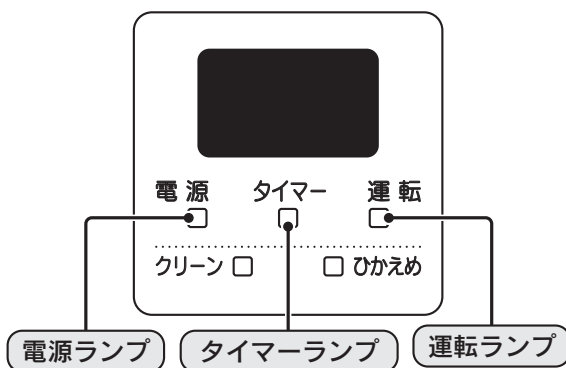
現象	確認・処置
風量が切換わらない	●ドライ運転や暖房運転時は切換わらないことがあります。
霧が出ているように見える	●冷房運転中に室内ユニットの吹出口から霧が出ているように見えるのは、部屋の空気が冷風で冷やされるためです。
湯気が出る	●暖房運転中に室外ユニットから湯気が出るのは、霜取り運転によるものです。

故障・異常が発生したときは

⚠ 警告

●不完全な修理は危険ですから、絶対にお客様ご自身で修理しないでください。
火災・感電・けが・水漏れの原因になります。

●故障・異常が発生したときは室内ユニットの電源ランプ・タイマーランプ・運転ランプが点滅して故障・異常をお知らせします。
ランプの状態によって故障・異常箇所がわかるようになっていますので、それぞれのランプの状態(点灯・点滅・消灯)を販売店にご連絡ください。



Ⓜ お知らせ

●故障・異常で室内ユニットのランプが点滅したときは運転が停止します。

運転中に誤動作したときは

●万一運転中に雷や自動車無線などで誤動作したり、動かなくなったり、リモコン操作を受け付けなくなったりしたときは、電源プラグをコンセントから抜き3分待って再度差し込んだ後に、リモコンの運転/停止スイッチを押してください。

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 修理を依頼する前に30・31ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、もう一度確認してください。異常がある場合は運転を停止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. エアコンの形名……室内ユニットの下面・室外ユニットの側面に記載されています。

RA-2239PV RA-2539PV RA-2839PV RA-4039PV

7・8ページ

2. お買い上げ年月日
3. 故障の状況……できるだけ詳しく
4. ご住所、お名前、電話番号
5. 訪問ご希望日

移設するとき

- 増改築、引越しなどでエアコンを取りはずしたり、再設置する場合は専門の技術が必要になりますので、お買い求めの販売店にご相談ください。
- この場合の取りはずし、設置は保証期間内でも費用がかかります。

廃棄するとき

- 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化などの料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証・修理について

このルームエアコンには「保証書」がついています

- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理により性能が維持できる場合はご希望により有料修理いたします。

補修用性能部品について

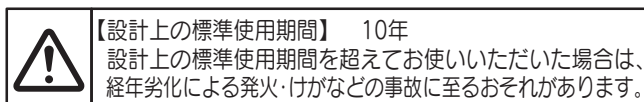
補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後
10年です

- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

- 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を室内ユニットの下面に表示しています。



設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は無料保証期間とは異なります。
また、一般的な故障を保証するものでもありません。

標準使用条件

JIS C 9921-3 ルームエアコンディショナの設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件による。

環境条件	電源電圧	製品の定格電圧による
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19℃)
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24℃)
	暖房室内温度	20℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15℃)
	暖房室外温度	7℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6℃)
	設置条件	製品の据付工事説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル
		冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日の使用時間	冷房：9時間/日
		暖房：7時間/日
1年間の使用時間	冷房：1,008時間/年	
	暖房：1,183時間/年	

※設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または本来の使用目的以外で使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

仕 様

形 名		RA-2239PV		RA-2539PV		
室内・室外の組合わせ		RC-2239PV	AE-2239PV	RC-2539PV	AE-2539PV	
種 類		冷房・暖房兼用セパレート形				
電 源		単相100V 50/60Hz				
冷 房	定 格 冷 房 能 力 (kW)	2.2 (0.9~2.8)		2.5 (0.9~2.9)		
	定 格 冷 房 消 費 電 力 (W)	520 (170~800)		615 (170~800)		
	運 転 電 流 (A)	5.8		6.8		
	運 転 音 音 響 パワ ー レ ベ ル (dB)	58	56	60	58	
	面積の めやす (m ²)	鉄筋アパート南向き洋室	15		17	
		木造南向き和室	10		11	
暖 房	定 格 暖 房 標 準 能 力 (kW)	2.2 (0.9~3.9)		2.8 (0.9~4.3)		
	定 格 暖 房 低 温 能 力 (kW)	2.8		3.1		
	定 格 暖 房 標 準 消 費 電 力 (W)	440 (150~1,070)		610 (150~1,150)		
	定 格 暖 房 低 温 消 費 電 力 (W)	940		1,015		
	運 転 電 流 (A)	4.9		6.8		
	運 転 音 音 響 パワ ー レ ベ ル (dB)	60	54	60	57	
	面積の めやす (m ²)	鉄筋アパート南向き洋室	10		13	
木造南向き和室		8		10		
通 年 エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率		5.8		5.8		
JIS C 9612:2005		5.8		5.8		
総 質 量 (kg)		8.6	22	8.6	25	
外 形 寸 法 (mm) (高 さ × 幅 × 奥 行)		295×799× 232	530×660× 277	295×799× 232	530×660× 277	
付 属 品		リモコン・単4形乾電池(2本)・リモコン取付具 静電集塵空気清浄フィルタ・取扱説明書 据付工事説明書・保証書				

- この仕様値はJIS C 9612:2013(日本工業規格)に基づいた数値です。
- 冷暖房面積のめやすは家庭用品品質表示法に基づいて算出した数値です。
- 実際に据付けた状態での運転音は、周囲の騒音や反響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
- 「通年エネルギー消費効率(APF)」はエアコンの省エネルギー性能を効率で表したものです。
APF=1年間で必要な冷暖房能力の総和÷期間消費電力量
- 運転していないときでもマイコンをはたらかせるため、0.4Wの電力を消費しています。

形名		RA-2839PV		RA-4039PV		
室内・室外の組み合わせ		RC-2839PV	AE-2839PV	RC-4039PV	AE-4039PV	
種類		冷房・暖房兼用セパレート形				
電源		単相100V 50/60Hz		単相200V 50/60Hz		
冷房	定格冷房能力 (kW)	2.8 (0.9~3.3)		4.0 (0.7~4.7)		
	定格冷房消費電力 (W)	720 (170~900)		1,230 (220~1,700)		
	運転電流 (A)	8.0		6.3		
	運転音 音響パワーレベル (dB)	61	58	61	60	
	面積のめやす (m ²)	鉄筋アパート南向き洋室	19		28	
		木造南向き和室	13		18	
暖房	定格暖房標準能力 (kW)	3.6 (0.9~4.7)		5.0 (0.7~7.2)		
	定格暖房低温能力 (kW)	3.4		5.2		
	定格暖房標準消費電力 (W)	850 (150~1,280)		1,385 (200~2,730)		
	定格暖房低温消費電力 (W)	1,130		2,415		
	運転電流 (A)	9.5		7.1		
	運転音 音響パワーレベル (dB)	61	57	60	62	
	面積のめやす (m ²)	鉄筋アパート南向き洋室	16		23	
木造南向き和室		13		18		
通年エネルギー消費効率		5.7		4.9		
JIS C 9612:2005		5.8		4.9		
総質量 (kg)		8.6	28	9.1	35	
外形寸法 (高さ×幅×奥行) (mm)		295×799×232	530×660×277	295×799×232	530×780×277	
付属品		リモコン・単4形乾電池(2本)・リモコン取付具 静電集塵空気清浄フィルタ・取扱説明書 据付工事説明書・保証書				

- この仕様値はJIS C 9612:2013 (日本工業規格)に基づいた数値です。
- 冷暖房面積のめやすは家庭用品品質表示法に基づいて算出した数値です。
- 実際に据付けた状態での運転音は、周囲の騒音や反響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
- 「通年エネルギー消費効率 (APF)」はエアコンの省エネルギー性能を効率で表したものです。
APF=1年間で必要な冷暖房能力の総和÷期間消費電力量
- 運転していないときでもマイコンをはたらかせるため電力を消費しています。
RA-2839PV : 0.4W
RA-4039PV : 0.5W

おぼえがき

まずはお買い求めの販売店にご連絡ください。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	電話番号		

●記入しておくことで修理などの依頼のときに便利です。

一般のお客様からのお問い合わせは、フリーダイヤルへ

 **0120-925-339**
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報、お客様へのお問い合わせ対応を目的として利用し、適切に管理します。修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。


修理に関するお問い合わせ

24時間365日受付

商品に関するお問い合わせ

平日 8:00～19:00
土日祝 8:00～17:00

愛情点検



長年ご使用のルームエアコンの点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 電源プラグが変色している。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 架台や吊り下げなどの取付け部に腐食や緩みがある。

- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です。



家庭用エアコンにはGWP(地球温暖化係数)が2090のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄などにあたってはフロン類の回収が必要です。

この表示は家庭用エアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、認識していただくための表示です。エアコンを取りはずす際はフロン類の回収が必要です。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

